

きずな



岩野田北まちづくり協議会

「岩野田北まちづくりビジョン」が皆様のご協力により、出来上がりました。

現在、「岩野田北まちづくり協議会」のホームページでの掲載と共に岩野田北公民館で閲覧ができます。

なお、皆さんへは4月下旬をめどに【要約版】を全戸配布する予定です。



岩野田北 『まちづくり』を 目指して



岩野田北自治会連合会
岩野田北まちづくり協議会
会長 松久 忠弘

日頃より自治会活動にご協力頂き誠にありがとうございます。

昨年よりの新型「コロナウイルス」感染症の流行が長期化する中、自治会の諸行事が中止となり、地区の皆様方には大変ご迷惑をおかけしております。

「ミバス」ぐるっとバスも導入されて一年半となりますが、「コロナ」の関係で本格運行が一年延期となりました。皆様方の更なるご利用をお待ちしております。

まちづくり協議会では、昨年より皆様方に「未来の岩野田北地区のまちづくりビジョン」についてのアンケートをお願いしました。回収されましたアンケートを参考に、可能な限りご要望に添えるよう皆様のご協力を頂きながら役員一同頑張つていきたいと思っております。

令和2年度 鳥羽川クリーンシティが行われました

肌寒さが感じられる早朝より、コロナ禍の中、令和2年度の鳥羽川クリーンシティが、自治会連合会主催で11月22日午前8時から大勢の住民の参加のもと、清々しく実施されました。

参加いただいた住民の皆様や、協力いただいた日赤奉仕団岩野田北分団をはじめ各種団体の皆様有難うございました。



岩野田北自治会連合会 事業報告

令和2年度 岩野田北地区防災訓練（避難所開設訓練）を実施

今年度の防災訓練は、従来実施していた地域住民数百人参加による総合防災訓練に換えて、新型コロナウイルス感染症予防のため、参加人数を極力抑制し、自治会長と住民有志により編成している自主防災隊を始め、消防団・水防団・日赤奉仕団・女性防火クラブの役員約50人参加のもと、岐阜市役所の都市防災部等の職員6人の派遣を得て、新型コロナウイルス等感染症予防対策を講じた新たな避難所設置・運用訓練を11月8日に岩野田北小学校体育館で実施しました。

訓練では、

- 避難者が体育館内の受付場所に入る前に、屋外に事前受付場所を設け、検温、体調の聞き取り等を行う事前受付場所の開設訓練(体調不良者は小学校本館内、健常者は体育館に避難)
- 体育館内では、飛沫の拡散防止(ソーシャルディスタンスの確保)のための簡易テントの設営訓練(このため避難者収容人員が大幅に縮小)等を実施し、非常時に備えました。



岩野田北まちづくり協議会 事業報告

今年度の活動は、コロナ禍で毎年子供たちが楽しみにしていた「夏まつり」や「秋のウォーキング」が中止になり地域の絆の創成、健康増進を図る事業できませんでしたが、青パトによる防犯活動は継続する事が出来ました。

一方、今年度よりの新しい取り組み、いろいろな意見を聞くための「サロン」の定期開催、地域への情報発信への「ホームページ」開設、その中では地域を空から見ようとの新企画でドローンにより空撮し紹介しています。そして、地域の現在の様々な課題を見つめて地域の将来を展望しての「地域ビジョン策定」を作成しました。

これらは、コロナ禍で多くの事業の中止を余儀なくされる中、この機会に今一度活動を見直すという意味で、とても意義深い事でありました。

地域の皆さんよりアンケートやパブリックコメント等において、様々なご要望、ご意見及びご提案をいただきありがとうございました。今後のまちづくり協議会運営の参考にさせていただく所存ですので宜しくお願い致します。

市長との懇談会



パネル展示



青パトによる防犯活動

サロン開催



ドローン空撮

社会福祉協議会岩野田北支部 事業報告

例年、主事と7名の社会福祉支援グループのみなさんが、「講師を招いて開催される教室」の会場設営や受付を担当し、また「お茶のみ会」や「わかくさ同好会」の運営を担ってきました。

今年度のいきいきサロンは、コロナ禍のため、10月以降に、定員を25名以下に抑えて開催しました。「講師を招いて開催される教室」は、10月は「認知症予防と対策」、11月は省エネ講座「暖房のコツ」(ともに公民館と共催)、12月は「園芸教室」を開催しましたが、1月に再び緊急事態宣言が出され、その後は中止になりました。

「お茶のみ会」と「わかくさ同好会」も、11月・12月のみの開催となりました。11月の両サロンとも、出席者それぞれが、コロナ禍の中、自分の生活・健康などについては話し合い、12月は岩野田北まちづくり協議会がドローンで撮影した「空から見る岩野田北」を、ここはどこ、あれはAさんの家などにぎやかに見て、地域について話し合いました。また、8月と10月に、昨年度の参加者にお便りを出し、皆さんの元気な様子を届けました。



認知症予防と対策



省エネ講座「暖房のコツ」



わかくさ同好会



園芸教室



お茶のみ会

いきいきサロン 2020年度活動報告

活動内容	開催日	実績
老い支度セミナー	5月20日 (水)	中止
避難生活の知恵	6月17日 (水)	中止
歌って笑って健康づくり	7月15日 (水)	中止
防犯啓発とアルプホルン演奏	9月16日 (水)	中止
認知症予防と対策	10月21日 (水)	開催
親子食育支援 さんさんの会	10月下旬 (水)	中止
省エネ講座「暖房のコツ」	11月18日 (水)	開催
園芸教室	12月16日 (水)	開催
温泉学入門	1月20日 (水)	中止
群読とピアノ演奏	2月17日 (水)	中止
伝え話&歌声広場	3月17日 (水)	中止

※園芸教室以外は岩野田北公民館と共催

各種団体だより

『新しい花もちづくり』への挑戦

岩野田北青少年育成市民会議 会長 山内 義孝



いつも岩野田北青少年育成市民会議の活動に対し、皆様のご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。昨年の活動とえば、当会も新型コロナウイルス感染防止の為にほとんどの事業が中止となりました。毎年行っていた事業が出来ないという事で、あらためて「当たり前の大切さ」を痛感いたしました。

楽しみにしていた「岩野田北夏祭り」も中止となった夏休み以降、12月開催の主催事業「花もちづくり」についても検討を始めました。当初、役員の中でも意見が分かれ、実施したいという意見を実施する

べきではないという雰囲気蔓延し飲み込む勢いでした。

しかしそんな中、「こんな状況だからこそ、この悪い流れを変えていきたい」「来年(令和3年)も花もち飾りで新年を迎えたい」という思いが役員の人々に湧いてきたのです。

コロナウイルス感染対策をした「新しい花もちづくり」に挑戦すると決め、3密を避ける方法を出し合いました。そうして、新しい形の「花もちづくり」を行うことになりました。

- ①参加者を集めて花もちを作れない。 ⇨花もちキットを体育館複数の入口で当日配付。
- ②作り方を教えられない。 ⇨作り方の説明を動画配信した。
- ③参加人数300名以上と多い。 ⇨小学生優先で200名限定とした。

未経験者同士が初めての事をする時は、いろいろ大変でしたが工夫の連続で終わってみれば楽しかった思い出話に花が咲きます。配信作業は、岐阜市のホームページチャンネルを活用できたので無事に成功しました。

これで20年以上続けている「花もちづくり」を止めることなく済みましたし、配信という形からの新しい可能性を生み出すことが出来ました。ありがとうございました。



『コロナ禍に思う事』

岩野田水防団 団長 宇留野秀幸



昨年はコロナに始まりコロナに終わった一年でした。水防団も団員達の訓練はもとより地域の避難訓練等も出来ませんでした。

今年もまだまだ恐ろしいコロナ禍の真っ只中です。致し方ない事ではありますが、この自粛中に家庭内での色々な件について話し合いを持つのも良い事だと思います。災害時の避難等について話し合うのもそのひとつだと思います。災害時について毎回言わせてもらいますが、自分の命、自分達の地域は自らの手で守るという自己防衛の意識を常に持っていただきたいです。

今年は団員の訓練や地域の避難訓練等が行える事を願っております。

この大変な時勢、皆様におかれましてはお身体を大切にお過ごし頂きますようお願い致します。



『私たちに出来る事』

岐阜市赤十字奉仕団岩野田北分団 分団長 小田切郷子



今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止の為ほとんどの活動を自粛しました。

そんな状況の中でも私達に何か出来る事はないか考えました。その一つが岩野田北小学校でのトイレと洗面台の消毒作業の手伝いです。体調管理やマスク・手袋着用にご注意、週1回、7月から12月までの短い期間ですが行いました。消毒作業は大変ですが、子供達の笑顔が何より励みになり充実した活動でした。

また、9月には例年通り岩野田北公民館の清掃を行いました。マスク・手袋を着用し、まだ暑い中での作業でしたが皆一丸となり、短時間で館内外を清掃できました。コロナ禍でのこの二つの活動は分団員の結束を強くしました。

その他、少人数ですが避難所開設訓練



や戸羽川清掃にも参加しました。

次年度は一日も早くコロナの感染状況が収束し、少しでも多くの活動が出来ますようお願いいたします。



『避難所開設訓練』

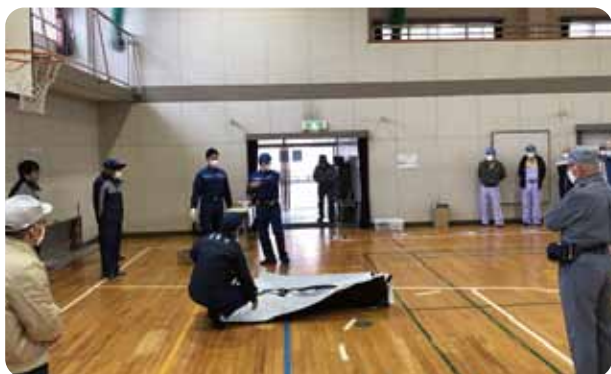
岩野田北女性防火クラブ 会長 田中 真弓



私達女性防火クラブは、岐阜市女性防火クラブ運営協議会事業計画に基づき、北消防署消防団・水防団・岩野田女性防火クラブ・自治会連合会の協力の素で活動をする事になっていましたが、今年は春から新型コロナウイルスの感染が増加し、緊急事態宣言も発令され、学校の休校をはじめ、外出自粛により、ほとんどの行事が中止や延期になったり、集まりも出来ない為、会議もほとんどが書面によるものでしたので、ほぼ活動する事が出来ませんでした。

その中でも避難所開設訓練が行われ、コロナ時の災害を想定して、避難所の中のテントの設営や熱がある人達の対処の仕方などの指導を受けられた事はとても勉強になりました。

まだまだ新型コロナウイルスは収束する気配がありませんが、地域の方々と協力し、女性防火クラブとしての役割に努めていきたいと思っております。



『皆様のご協力に感謝』



岩野田母子福祉会 会長 水谷美由紀

今年度は、コロナの影響でいつも通りの活動はできませんでしたが、それぞれの家庭で子供たちとの時間を大切に過ごしてきました。日々忙しく子供と向き合う時間も十分に持てませんが、長い自粛生活の中で子供と過ごす時間が増え、いつもとは違う日常を過ごしてきました。

その中で、年度末の恒例行事となっているしめ縄づくりを行いました。人数を制限し、十分な感染対策を取ったうえで、公民館のご協力を得て開催できたことに感謝しています。外出もままならない中、久々のイベントということで、仲間の皆さんの笑顔も、子供たちの元気な姿も見られ、外の寒さとは逆に、心温まるひとときとなりました。

来年度は、ぜひ多くのイベントを開催できるよう、今後も感染対策を万全に過ごしていこうと思います。母子家庭のお母さん、一人で悩んでいませんか？私たちと一緒に子育てを楽しみましょう。



『コロナ禍を静謐な気持ちで生きる』



体育振興会 会長 澤村 弘

日頃は体育振興会にご理解、ご協力を賜り誠に有難うございます。現状の活動は、「まだまだ我慢の時期」と心得ている次第です。

新型コロナウイルス感染症が起きてから一年が経過し、今後も『withコロナ』と察しております。

コロナを含め、人に降り掛かる「悩み・不安」の原因は、人の命や財産に危険が及ぶと考えるからだと思います。テレビでクイズ番組を観ていて、難問が解けなくてもそれは悩みや不安にはなりませんよね。なので、命や財産に危険が及ぶことは「少し当たり前」に感じては如何でしょうか？

日本は、地形的に台風や地震による被害は当たり前、人の命は年齢に関係なく、いつかはなくなることが当たり前、色んな出来事から出費は当たり前等。

コロナ禍でも、どんなことにもぶれない自分自身を作り上げることを探求しましょう。静謐(せいひつ)とは、静かで落ち着いた気持ちになっていることです。

地域の皆様と共に元気に再会出来ることを待ち望んでおります。

『交通安全は一人一人の意識から』

交通安全協会岩野田北支部 支部長 堀野 重信



交通安全協会岩野田北支部は、交通安全事故防止のため 街頭啓発、のぼり旗設置、自治会活動、交通安全教室等、交通安全啓発活動を行っています。令和2年度はコロナ禍においてなかなか活動ができませんでしたが、皆さまが、『事故に遭わない』、『事故をおこさない』そうした意識を持ちつづけるために啓発活動をさせて頂いています。



『年賀状作り』

岩野田北民生委員・児童委員協議会 会長 宇留野政司



令和2年度は、新型コロナウイルス感染防止の為、民児協の多くの行事が中止になりましたが、昨年12月7日には、岩野田北小学校の先生方にご協力を頂き、絵手紙教室を開催する事が出来ました。

絵手紙教室は、講師の山田久恵先生を迎え、5年生の教室(3クラス)に於いて、年賀状作りが行われました。生徒の皆さんが作成された年賀状は、地域の繋がりを深める為に、ひとり暮らしの高齢者及び、高齢者世帯(見守り対象者)の皆さんに送られました。

年賀状を受け取られた方々も大変喜ばれています。

写真は授業風景と、力作揃いの年賀状の一部をご紹介します。



自治会連合会・まちづくり協議会からのお知らせ

◆『きずな33回号』いかがでしたでしょうか。今期はコロナ禍のもと、二度にわたる緊急事態宣言が発動され会議もままならない中、各種団体の役員さん達もイベント開催か否かでかなりの苦悩をされた事と思います。しかしそんな事態にもしっかりとした感染予防対策や地域コミュニティとの連携をとりイベント開催に尽力された役員の皆様にご心より感謝申し上げます。

◆『まちづくり協議会』がホームページを開設いたしました。詳しくは右に記載のQRコードからアクセス出来ますので宜しくお願いいたします。ドローンで見る岩野田北のまちをご覧いただけますよ。



岩野田・岩野田北コミュニティバス等運営協議会 事業報告

「ぐるっとバス」 試行運行から本格運行への移行が1年延期になりました

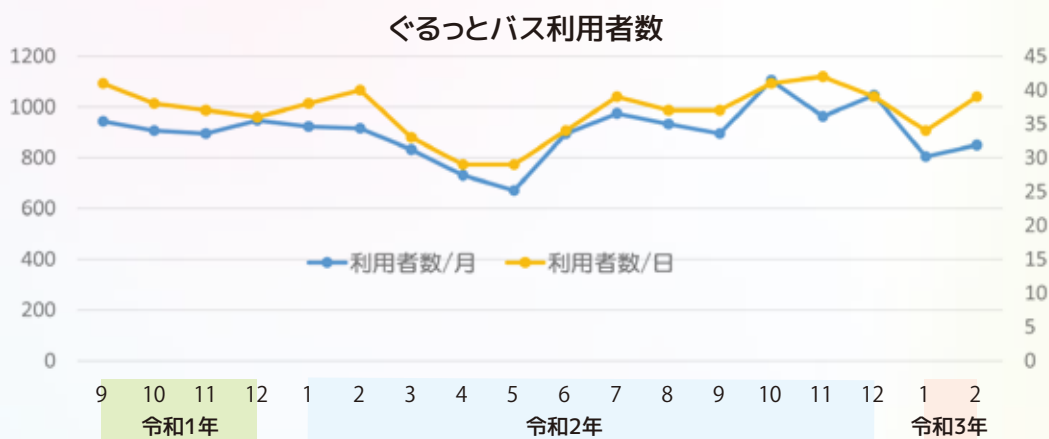
4月に出された緊急事態宣言で、岐阜市各地のコミバスの利用者が、4月、5月は50%と大幅に落ち込みました。こういう状況で開催された「コミュニティバス等全体会議」(11月2日)で、本格運行の継続(3地区)およびの試行運行から本格運行への移行(「ぐるっとバス」)の判断が1年延期されることが決まりました。「ぐるっとバス」は、地域業者の車両広告協力を得て、令和2年4月からの本格運行への移行の土台ができていましたので、この延期は残念です。

緊急事態宣言による「ぐるっとバス」の利用者の落ち込みは、4月が20%、5月は30%程度でしたが、6月からは回復に向かい、10月には月利用者数が1000名を越えました。しかし令和3年1月に再び緊急事態宣言も出され、利用者は805人と減少しました(表、グラフ)。コロナ禍の収まり具合によりますが、月利用者数が定常的に1000人以上になることを願っています。

令和2年度の広報紙「コミバス通信」は、6号と7号を発行しました。

また、まちづくり協議会のホームページに「ぐるっとバス」のページを設け、時刻表、運行ルート、バス車両広告協力事業者(各事業者のホームページにリンク)、コミバス通信の項を設けました。

年 月	令和1				令和2												令和3	
	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2
利用者数/月	944	907	895	947	923	916	832	731	671	894	974	933	895	1104	963	1047	805	850
利用者数/日	41	38	37	36	38	40	33	29	29	34	39	37	37	41	42	39	34	39



高富街道にて



のどかな街並みに黄色い車体が映えますね

岩野田北小だより

みんなで 栗野の子を育てましょう！ パートⅢ

令和二年度岩野田北小学校長 遠山 健二

昨年度も、本校児童503名のために、大勢の栗野の皆さんが、さまざまな場でさまざまな形で支えて下さいました。本当にほんとうにありがとうございます。

新型コロナウイルス感染症の広がり、今まで「当たり前に行ってきたこと」ができない毎日でした。児童一人ひとり、いろいろと思うところ・考えるところがあったでしょうが、本当によく我慢し、様々な制限のある中でよく工夫し、一生懸命に取り組んでくれました。

昨年6月、新学期が始まるにあたり、私は全校児童に次の3つの話をしました。

- ①「いつも『自分の願い』をしっかりと持ってほしい！」
- ②「自分のいいと思えるところをすぐに話せるようになってほしい！」
- ③「自分の命は自分で守ってほしい！」

1つ目は、この三年間こだわってきた、どんなときも、「～したい!」という自分なりの願い・思いをもって取り組んでほしい、生きてほしい、ということです。自分は将来こんな仕事をしてみたいという夢、自分はこのお手紙でこんな思いを届けたいというような願い、こうした自分なりの願い・考え・思い、そして夢・志をしっかりと持つことができている子どもは、まわりの環境に左右されることが少なく、地道に前進していけるものです。

他の紙面でも紹介したことなのですが、先日ある高学年の子が訪ねてきて、おしゃべりしている中で将来の夢が話題になり、「僕は、人を助ける仕事をしたいで、消防や警察や自衛隊の仕事がしたいなあ。」と語ってくれました。思春期の時期を迎え、いろいろと悩み多き毎日を過ごしているのですが、自分の願いを即答してくれた姿に、大きな逞しさと安心を感じました。

2つ目は、過去2回、この紙面で書かせていただいた「自己肯定感」にかかわることです。子どもたちには、いつも「自分のいいところ、いいなあと思えることをすぐに2～3つ言えるようになるろう。」と話しています。

子どもは子どもなりに「わかること・できること」にこだわります。それは勉強だけではなく、遊びも含め自分の生活すべてにおいてです。そして、こだわっていることを褒めてもらえたり、価値付けてもらえたりする中で「自信」をつけます。この自信が全ての行動のエネルギーとなります。

右は昨年紹介しました褒め方・価値付け方の一例ですが、今年度も、この表を各家庭にお配りする予定です。勉強・遊び・お手伝い等々の中で、栗野の子を具体的に褒めていただけると幸いです。子どもの自信は、地域のエネルギーにもつながります。

3つ目、これはコロナ禍に限らずのことです。命あっての人生、健康あっての楽しい毎日です。防災、交通安全、感染症対策等、子どもを取り巻く環境は厳しさを増しています。大人が直接守ってあげられる場はほんの一部です。「自分の命は自分で守る。」この「意識」を高めること、これは子育て上の大きな大きな課題です。

これからも、ご協力とご支援をよろしくお願ひいたします。

『みんなで栗野の子を育てましょう!』

やる気を出させる
家族からの褒め言葉

家族からの褒め言葉は、頑張るための最高のエネルギーです。



	低学年	中学年	高学年
ドリル学習	<ul style="list-style-type: none"> ・きちんと書けたね。 ・頑張ったね。 ・お母さんうれしいわ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・読みやすい文字だね。 ・一冊も集中して取り組めたね。 ・進みまでできたね。 	<ul style="list-style-type: none"> ・丁寧にできたね。 ・数字間違いはしなかったね。 ・間違い直しができたね。
算数	<ul style="list-style-type: none"> ・大きな声で読めたね。びっくりしたよ。 ・気持ちよさめて「ほっきりよ」読めたね。 ・「。」や「。」に気をつけて読めたね。 	<ul style="list-style-type: none"> ・すらすら読めたね。聞きやすかったよ。 ・ほっきりよ読めたね。 ・気持ちよさめて読めたね。 ・「。」や「。」に気をつけて読めたね。 ・お母さんは、聞いていて……と思ったよ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・聞きよって読めたね。 ・ほっきりよ聞きやすくて読めたね。 ・気持ちよさめて読めたね。 ・いろいろな書いてあるね。読むと楽しいことが発見されるね。
日記帳	<ul style="list-style-type: none"> ・簡単に分かりやすく書けたね。 ・一の字がよくなるよ。 ・気持ちよさす言葉が入っているね。 ・お話を聞きが知りたいな。一緒に読もう。 ・今日はどこまで読書できたの? ・今日は1冊読めたね。 	<ul style="list-style-type: none"> ・一の字がよくなるね。 ・「。」も読めて書けたね。 ・お話を内容がよく分かるよ。 ・一冊……お言葉に聴いてあげたいだね。 ・面白そう(嬉しい)な本を読んでいるね。 ・新しい本を借りてきたんだね。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の気持ちがよく分かるように書けたね。 ・書き出しが工夫できたね。 ・大切なことが分かるね。 ・お母さんもの考えに賛成だね。 ・今度はどんな本にするのかな。
読書学習	<ul style="list-style-type: none"> ・漢字をたくさん覚えたね。 ・計算が速くできるようになったね。 ・最後まで頑張ったね。 ・やる気満々だね。 ・楽しんでくれたね。 	<ul style="list-style-type: none"> ・一冊に覚えようか。 ・2冊目をやりかけたね。 ・想像が広がってきたよ。 ・字にふんわりなつたよ。 ・字はばきできるんだね。 ・新しいことが分かってよかったね。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の得意なことをお話しているね。 ・頑張った分、力が付くよ。 ・やり方を工夫したね。 ・問題をうまく解けたね。 ・お母さんおめでとうだね。

公民館便り

コロナ禍の一年でした

岩野田北公民館 館長 小枝 松雄

昨年の今頃は、1年間公民館にお世話になり、多くの先輩の指導のもと、運営の要領も分かり始めてきたところでした。2年度はこうしよう、こんなことはどうかと計画を巡らし具体化案を考えていたところでした。

2月に入りコロナ騒動が勃発し、事態が一変しました。初めは、他国の事のように思われました。が、岐阜県で初めての感染者が発表されると、公民館での活動が次第に制限され、ついには休館にまで追い込まれました。6月から再開しましたが、検温等さまざまな制約も多く、自由なクラブ・サークル等の利用再開には未だ至っていません。

公民館講座も、クラブ・サークル発表会、文化祭も中止せざるを得なくなりました。他校区の公民館との様々な交流・情報交換の場も中止になりました。そんな中で、Zoom(ズーム)を使った会議・研修を行えるよう、市が全公民館に必要な機器を配備してくれました。

今年の2月にはZoomによる公民館全職員の研修も、公民館に居ながらにして受けることができました。

やっと開催した12月のクリスマスコンサートも、コロナ対策で参加人数がごく少数に制約されるため、ライブ配信で多くの人に楽しんで頂こうとしましたが、技術的・時間的になかなか録画するだけにとどまりました。公民館の従前からあるホームページにはうまく録画を掲載することができず、「岩野田北まちづくり協議会」のホームページに投稿という形で掲載していただいています。

ワクチン接種も始まりましたが、まだまだコロナとの戦いは続きます。3密を防ぐためにも、これからはZoomや、Youtube(ユーチューブ)を利用したライブ配信等で、著作権の問題もクリアしながら、公民館講座等多くの人に楽しんでいただくよう計画しています。

公民館も、withコロナのもと新しい技術・アイデアを取り入れ、岩野田北の皆様の教えやご意見を賜り、変わっていかねばと思っています。コロナが一刻も早く収束し、公民館の賑わいが戻って来ますことを願っています。



▲岩野田包括支援センター、社協岩野田北支部の協力で認知症予防講座
(令和2年10月21日)



▲岩野田北小5年生と人権学習「コロナハラスメント」
(令和2年11月16日)



▲市低炭素資源循環課による省エネ講座「暖房のコツ」
(令和2年11月18日)